

私は六論会を代表して、陳情第3号新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のフィットネスクラブ活用に関する陳情に関して、反対の立場で討論いたします。

健康二次被害による国民の健康の悪化や、新型コロナウイルス以外の重症患者の増加による地域医療態勢の逼迫を防止するために、健康の保持増進を目的とした継続的な運動は大変有効だと思います。

しかしながら、現在、ワクチン接種がスピードアップしながら進みつつあり、自粛していたフィットネスクラブの利用者も、接種が進むにつれてクラブ活用を再開したり、新たに入会したり、増えてくるものと思われます。また、フィットネス産業協会加盟企業の施設利用会員のみへの補助支援策は公平性に欠けるのではと考えます。

一方野田市では、市民に対して「応援します！健康づくりのはじめの一步 ポイントをためて、健康も賞品もゲットしよう！」という、賞品付きの事業も行われており、好評とのことです。フィットネスクラブの利用者にも、既に行われている本事業のパンフレットを活用していただきPRすることにより、継続的な運動を促進していただければと思います。

以上のことより、財政厳しき折、コロナ対策の事業にかかる費用も増大しており、予算も限られていること、公平性の観点から、本陳情第3号に反対致します。